



向陽



066-0057 千歳市若草5丁目1番地 28-2111

<学校教育目標>

- すすんで考える子
- すなおで思いやりのある子
- ねばり強くやりぬく子
- 明るくたくましい子

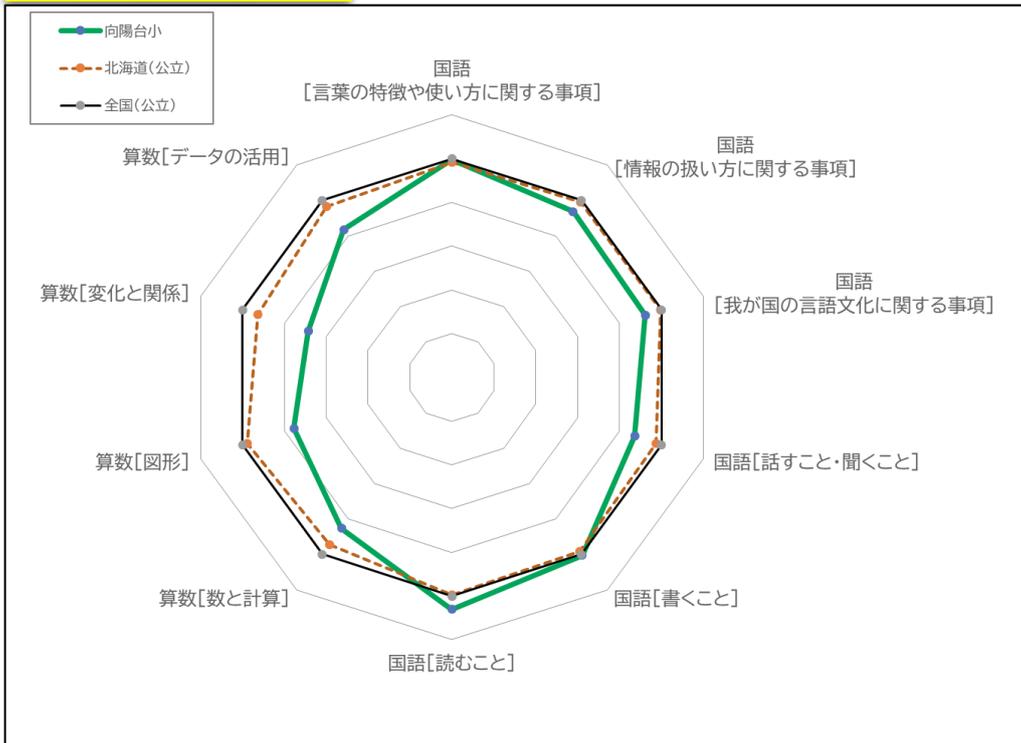


令和6年11月29日発行 連絡フォーム

『 令和6年度 全国学力・学習状況調査 本校の結果について 』

今年度の4月に6年生を対象として全国学力・学習状況調査が実施されました。この調査は6年生に実施したのですが、今回見えてきた成果と課題につきましては学校全体で捉え、本校における教育活動の充実と学習状況の改善に役立ててまいります。また同時に、「児童質問紙における学習状況調査」も行われ、学習や生活、地域に対する意識や生き方などについての質問調査の結果についても分析をしました。その中から顕著なものや学校経営の重点に合わせ、一部を取り上げてお知らせします。地域・保護者の皆様におかれましても、家庭での学習に生かし、子どもたち自身が自らの成長に気付くよう、温かくご支援していただけたらと思います。

教科全体の結果



国語 本校の結果

- 言葉の特徴や使い方に関する事項
全国平均とほぼ同等であるが、やや下回る。
- 情報の扱い方に関する事項
全国平均を下回る。
- 我が国の言語文化に関する事項
全国平均を下回る。
- 話すこと・聞くこと
全国平均を下回る。
- 書くこと
全国平均とほぼ同等であるが、やや上回る。
- 読むこと
全国平均を上回る。

算数 本校の結果

- 数と計算
全国平均を下回る。
- 図形
全国平均を下回る。
- 変化と関係
全国平均を下回る。
- データの活用
全国平均を下回る。

各教科の状況

(1) 国語は全国平均とほぼ同等であるが、やや下回る結果となりました。

今回の調査における◎成果や●課題	改善の方向
<ul style="list-style-type: none"> ◎目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討すること。 ◎目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。 ◎人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。 ●目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することや事実と感想、意見とを区別して書くこと。 ●自分の考えが伝わるように書き表すこと。 ●漢字を文の中で正しく使うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ○日々の漢字練習を継続して行い、読んだ文章の中から漢字を探し、その意味や使い方を確認する。 ○文章の中で使われる漢字の意味と用法を理解するために、例文を書いてみる。 ○新聞等のニュースを読み、記事の中から事実だけを抜き出し、事実と意見の違いを理解する学習。また、意見や感想を付け加えていく活動。 ○実験や観察の結果などを表やグラフにまとめて、どのようなパターンが見られるかを考える活動。

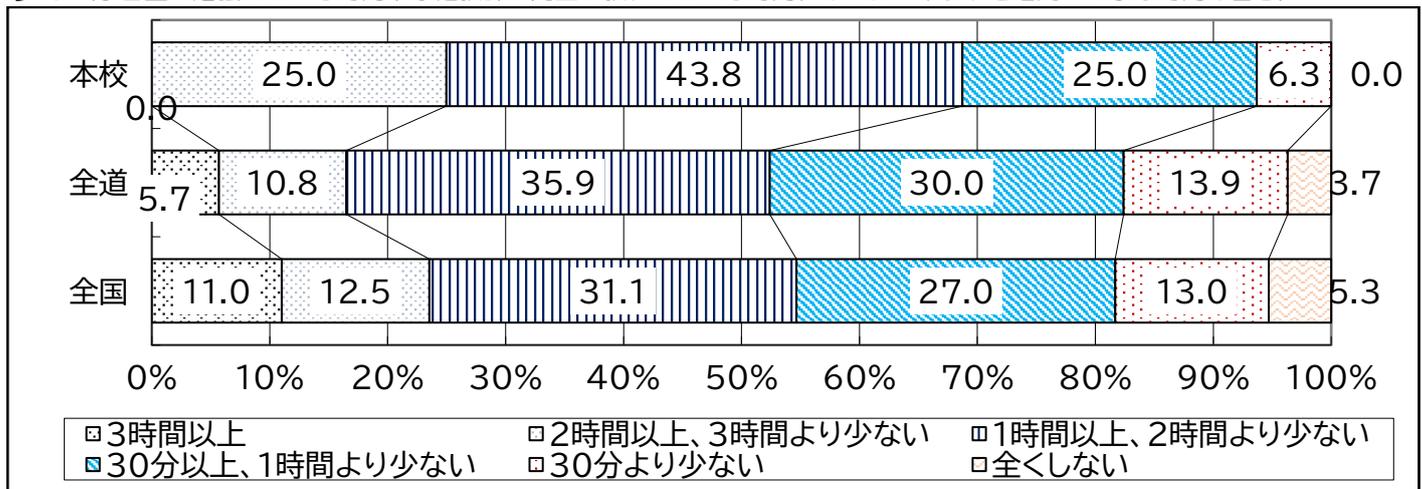
(2) 算数で全国平均を下回る結果となりました。

今回の調査における◎成果や●課題	改善の方向
<p>◎折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述すること。</p> <p>●問題場面の数量の関係を捉え、式に表すこと。</p> <p>●計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉で記述すること。</p> <p>●直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解すること。</p> <p>●角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数がそうなる理由を言葉と数で記述すること。</p> <p>●$540 \div 0.6$のような除数が小数である場合の除法の計算をすること。</p> <p>●道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数で記述すること。また、速さの意味について理解すること。</p> <p>●円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ること。</p> <p>●簡単な表を読み取り、必要なデータを取り出して、もれや重複がないように分類整理すること。</p>	<p>○計算</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常に即した問題をもとにして、式に表す練習をする。 ・ 問題を図や表で視覚化し、数量の関係を見える化する。 ・ 基本的な計算ルールや性質を再確認し、例題で理解を深める。 ・ 計算の過程を言葉で説明する練習を繰り返す。 <p>○図形</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 円の直径と円周を実際に測り、円周率の概念を体感する。 ・ いろいろな円を使って関係性を確認する活動を行う。 ・ 五角柱などの模型を作成し、底面と側面を数える活動を行う。 ・ 図を使って面の数とその理由を説明する練習をする。 <p>○関数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実際に時間を計りながら距離を測る活動を通じて、速さの概念を理解する。 ・ 速さについての問題を解き、その理由を言葉と数で説明する。 <p>○データ処理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実際のデータを円グラフにして特徴を理解する。 ・ 円グラフから割合を読み取る問題を多く解く。 ・ 自分で表を作り、データを整理する練習をする。 ・ 簡単な表を使い、データを読み取って分類する活動を行う。

児童質問紙

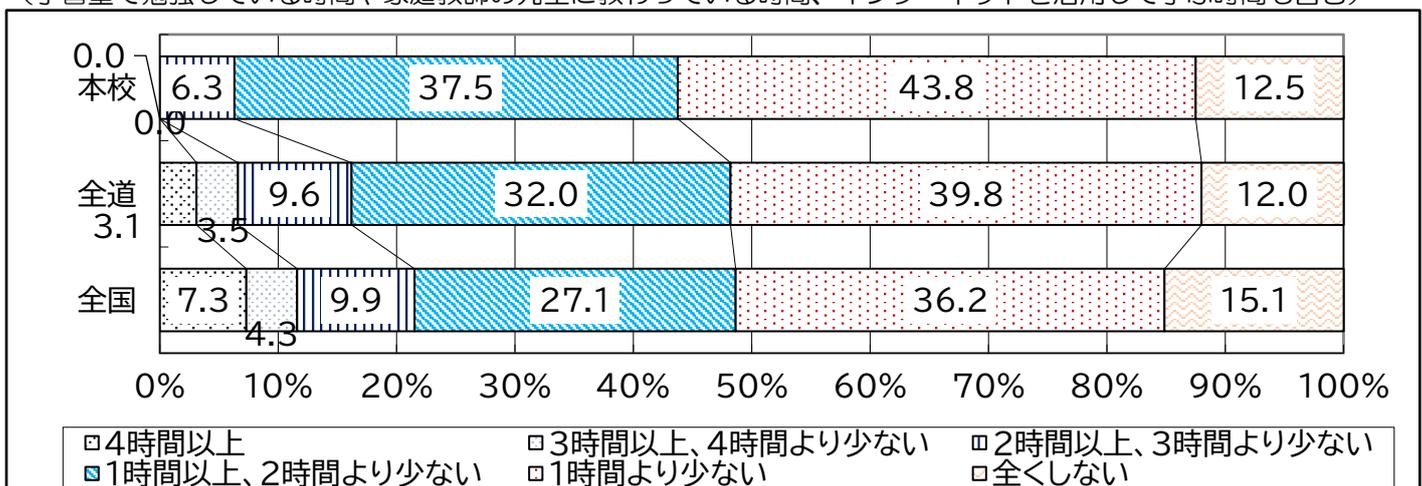
【家庭学習に関わること】

Q 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



30分より少ない児童が少なく、1～2時間の学習をしている割合が全道・全国に比べると多い

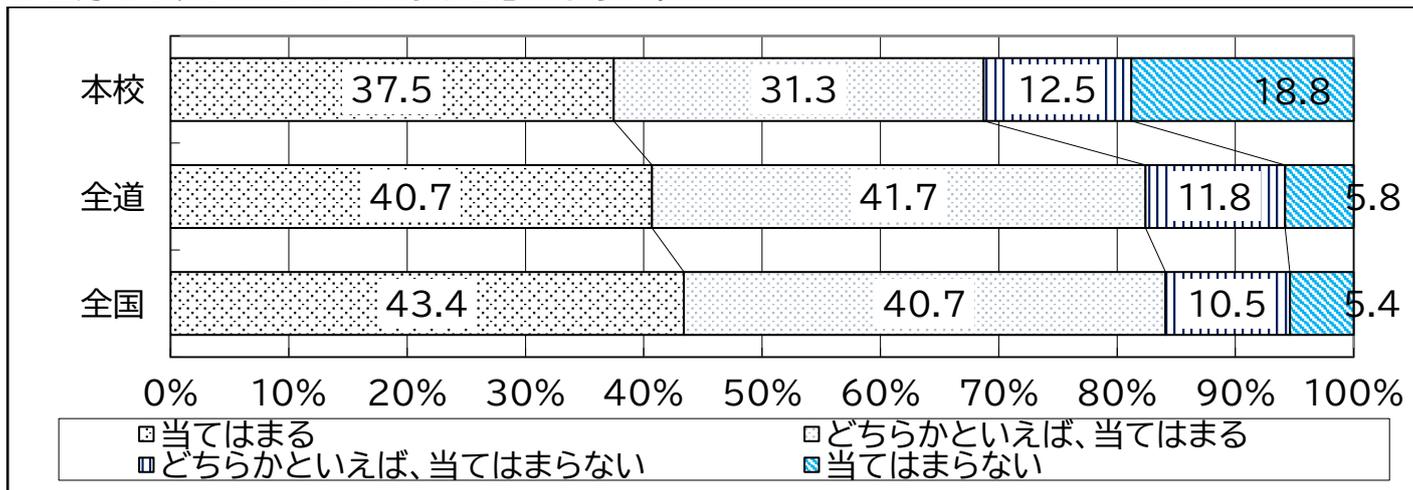
Q 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



土日の学習は、2時間以上の学習の割合が全道・全国に比べると少ない
1～2時間の学習をしている割合が全道・全国に比べると多い

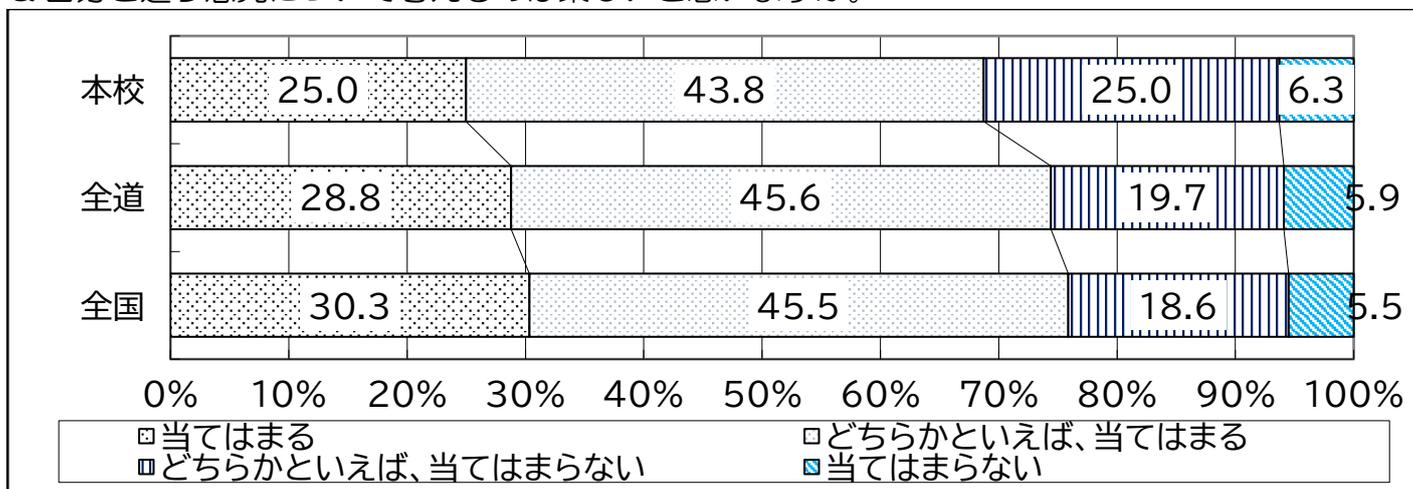
【学習指導等】

Q 自分には、よいところがあると思いますか。



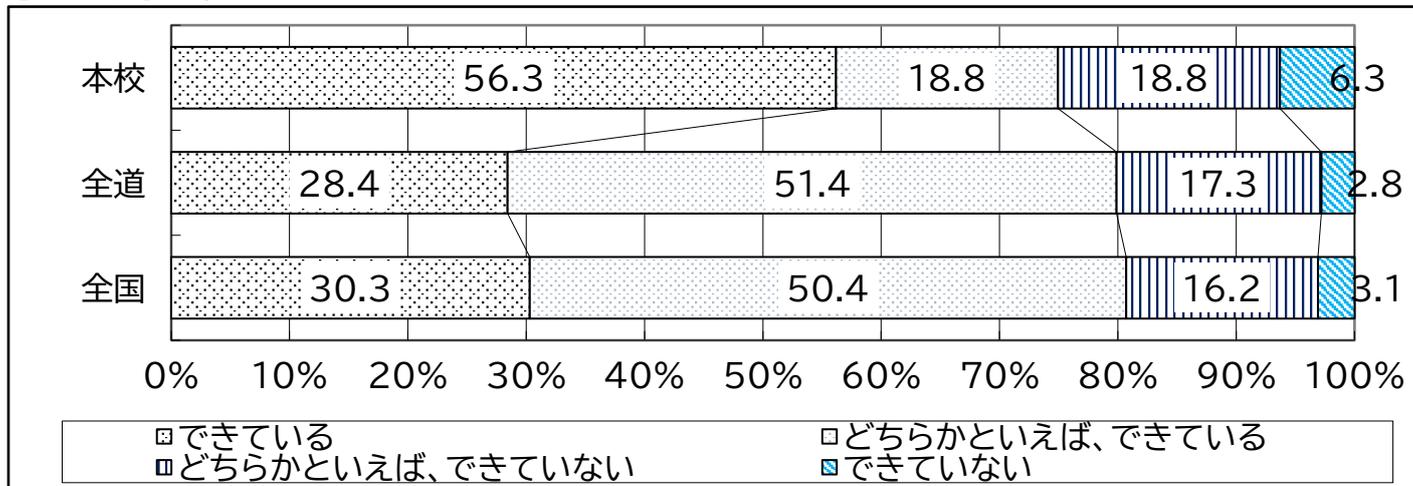
「当てはまる」・「どちらかといえば当てはまる」の回答をした割合が、全道・全国に比べると少ない

Q 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。



「当てはまる」・「どちらかといえば当てはまる」の回答をした割合が、全道・全国に比べると少ない

Q 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。



「当てはまる」の回答をした割合が、全道・全国に比べると約2倍多い

《全国・全道平均より肯定的な回答が上回っている項目》

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。

携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか。(遊びなどの目的に使う時間は除く)

算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか。

理科の勉強は好きですか。

子どもたちは健康的な生活習慣を保とうとし、家庭内でのルールを守る意識も見られます。いじめに対しても向き合っていて考えています。算数や理科の学習で学んだことを日常で活かそうとしたり、ICTを活用して学びを深めようという姿も見られます。

保護者のみなさまには、引き続き「自学ノート」の取組を通して、子どもたちの関心や努力の過程をサポートしていただくようご協力をお願いします。また、デジタル機器の利用については、適切なバランスを保ちながら、効果的な学習環境を整えることが求められています。ご家庭での使い方の見守りもよろしくお願いします。学校でも情報モラルや使い方の学習を進めて参ります。

《全国・全道平均より肯定的な回答が下回っている項目》

普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか。

※本校は、3時間以上する児童が圧倒的に多い

自分には、よいところがあると思いますか。

将来の夢や目標を持っていますか。

自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。

本校では、子どもたちの自己肯定感や夢・目標に対する意識を高めるために、日常からのポジティブな声かけを大切に指導していきます。日常的に子どもが達成したことや良い行動について振り返り、話をすることを心がけています。

また、自分自身を見つめるための時間(道徳や学活、総合的な学習の時間など)を設け、自分の良いところを探したり気づかせたりすることに重点を置いています。さらに、さまざまな職業や活動をしている方々の話を聞く機会を多く設け、生き方へのイメージを持たせ、視野を広げる時間を大切にしています。

是非、ご家庭でもお子さんと夢を語る場を設けたり、子どもの夢を応援する機会を作っていただければと思います。また、職業体験などのイベントもさまざまな場所で行われていますので、機会を見つけて参加することでも、楽しみながら視野を広げることができます。

今後も、子どもたちの成長を支える環境を整えられるよう、「子どもが選択し、その理由や結果」を振り返り、より良い選択ができるよう、学校と家庭との連携を大切にして参ります。